



ベオグラード大学 文学部

JAPANESE STUDIES – TRADITION AND FUTURE QUESTS



第一報

日本研究-伝統と未来への追求

学会

組織委員会を代表しまして、「日本研究-伝統と未来への追求(JS Quest)」の学会のご招待と会議に関する第一報をお知らせいたします。

日本語の授業が実施されてから40周年というこの節目の年、ベオグラード大学主催で2016年11月18日に本会議を予定しております。ベオグラード大学文学部で初めて日本語の授業が行われたのは、1976年11月11日です。当時、学生は二年間の選択科目として日本語を学んでいました。その後1985年、正式に日本学科が設立され、今日では日本語・日本文学・日本文化専攻課程を扱う日本学科に成長しました。ベオグラード大学文学部における日本語教育は40年という長い間、高等教育機関として伝統ある歴史を歩んできました。特に西バルカン地域では質の高い日本語教育を受けることができる教育機関として発展してきました。ベオグラード大学文学部のみならず、地域全体に日本文化に関する知識が吸収して行きました。

現在、私たちの生活の中には日本文化が偏在し続けています。日常生活、ビジネス、趣味や考え方といった様々な場面で日本文化の影響をみることができます。例えば、セルビア語に翻訳された日本文学書籍、武道や伝統芸能の落語、寿司などの健康的な日本食、アニメや漫画などのポップカルチャーです。また、ビジネスではカイゼン管理システムを取り入れている企業も多数あります。

日本が常に自国の伝統から学んできたように、私共もこれからの豊かなる将来を創造するプロジェクトとして、今までの経験を生かして行きたいと考えています。また日本から学べるものは日本学だけではなく。科学、技術、経済など、多くの分野に渡り世界最先端に行く日本という国を考察することで様々な問題を解決するヒントが得られると思っております。

本会議「日本研究-伝統と未来への追求」では、その名の通り、日本語教育及び日本研究を生存・発展させるため、現在までの歩みや、日本研究を広めるうえでの問題点や今後どのような活動を

行わなければならないのか、日本研究の未来を協議することを目的としています。また、異なる地域で活躍されている様々な専門分野を扱う研究家のネットワーキングの機会になれば幸いです。

本会議ではトピックを以下の4つに指定したいと考えております。

1. 言語と日本： 一般言語学、教授法、コーパス言語学、社会言語学的側面など。
2. 文学と日本
3. 文化、経済、歴史と日本
4. 科学、技術と日本

本会議での使用言語は英語、日本語、セルビア語の3言語になります。口頭発表を15分、質疑応答の時間を5分とさせていただきます。

参加ご希望の場合は、**2016年9月1日**までに登録フォームを電子メールにて **jsquest2016@gmail.com** までお送りください。ただし、**2016年8月1日**までに登録済みの方は参加費を割引させていただきます。

要旨 (abstract)は上記の4つのテーマからに本会議に関する題材でお送りください。学術的価値観、独創性やアプローチや研究内容に基づき選考させていただきます。選考結果は2016年9月30日までに送信させていただきます。本会議と査読後、発表された方の研究は選考して議事録に掲載させていただきます場合があります。

参加費は2016年8月1日までにご登録された場合は80ユーロ、2016年8月2日から2016年9月1日までの間にご登録された方は120ユーロになります。参加費には会議経費、会議資料、休憩の際の軽食、昼食（ビュッフェ）、議事録の出版費、ならびに2016年11月18日にガラディナーが含まれています。11月19日に市内観光ツアーはオプション（参加費：30ユーロ）です。

ベオグラード中心部にあるお勧めホテルの一覧とベオグラード大学文学部に関する詳細は以下のウェブサイトをご参照ください。

<http://www.fil.bg.ac.rs/fakultet/naucni-skupovi-i-konferencije/>

11月にベオグラードでお会いできることを心より楽しみにしております。

敬具

会議組織委員会「日本研究-伝統と未来への挑戦」

